

事業所名 ひかり岩見沢5条(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

R7 年

1 月

10 日

法人(事業所)理念		・家庭的な支援と遊びの中に何か1つ(療育の縛りではなく関りの中で支援していく.) ・できないのではなく、どうやったらできるかを考える療育						
支援方針		○集団療育:遊びの中で社会性を学ぶためのトレーニングや支援を行います。ソーシャルスキルトレーニング(SST)を取り入れながら、集団生活のルールを学び、自己表現の仕方・人との距離感や関係性の構築・向上心・問題解決能力・自己決定能力を引き出していきます。 ○非日常を体験できるレクリエーション:楽しみながらチャレンジする心を育てます。できる喜びを増やし、社会性・コミュニケーション能力の向上、郊外学習などの経験を通じて、子どもたちの「出来る」「喜ぶ」「楽しむ」を増やします。 ○保護者様のレスパイト:保護者様の不安を和らげる情報発信や勉強会を開催し、地域に開かれた事業所を目指します。						
営業時間		9 時	0 分から	11 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	①ルールにそった活動 → 小集団や集団での活動のルールを伝えていく。 ②清潔保持 → 手洗いうがいなど、日常的清潔の習慣化を図っていく。 ③不安要素の軽減 → 伝えたい思いにじっくり耳を傾け、先回りせず程よい距離から見守る環境を作っていく。						
	運動・感覚	①身体の使い方 → 動かす部分に着目できるように活動を進めていく。楽しみながら身体を動かす体験を提供していく。 ②もの作り → 毎月のカレンダー作りや壁面製作をし、指先の感覚を身につけ、イメージを具体化する力を育ていく。						
	認知・行動	①危険認知 → 活動中の危険な行動について、適切な注意喚起を促していく。 ②視覚支援 → ホール内に、視覚支援を取り入れ、誰にでもわかりやすい支援を行う。						
	言語コミュニケーション	①言葉の速度 → 吃音や不明瞭さがある時も、ゆったりと時間を確保しさえぎらず、最後まで話を聞いていく。 ②お友だちとの言葉のやりとり → 子どもたちのやり取りに職員が入り、会話の橋渡しをしていく。 ③会話の組み立て方 → 問いかけ方法を工夫したり、項目をくぎって聞いていく。相手に伝わる話し方の経験を重ねる。						
	人間関係社会性	①就学に向けての準備 → 学習時間の確保や集中しやすい環境作りをしていく。整理整頓や自分の物の管理を伝えていく。 ②挨拶 → 来所時の挨拶や活動開始と終了の挨拶など、定着していくよう声かけをしていく。						
家族支援		日々の様子は送迎時やHUGにてお伝えしています。また、必要に応じて電話やLINEを活用し保護者からの相談を受けています。半年に1度は面談を行い、保護者の相談や意向をお聞きしています。			移行支援		幼稚園や保育園に訪問し、様子を見させていただいたり、先生からお話をお聞きしています。また、事業所での様子もお話させていただき、共通して取り組むことができるよう、どのようなことが必要なのかをすりあわせ、体制を整えています。	
地域支援・地域連携		市で行っている事業所部会に積極的に参加し、他の事業所、相談支援事業所、保育園、幼稚園との交流を深め、情報共有を図っています。			職員の質の向上		外部研修・内部研修に積極的に参加してもらい、職員一人ひとりの研修の機会が確保されています。また、年に2度の事業所間研修も行い、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。	
主な行事等		毎月誕生会、映画ごっこ、サッカー教室を行っています。その他は、夏祭りやムーブメント遊び、雪遊びもあります。ひかり全体としては、イージーベースボール大会やよさこい交流、来年度は、モルック大会を予定しています。また、季節に合わせた活動も取り入れています。						